

# 生計同一関係申立書（未支給年金用）

共済組合受付印

## ① 請求者の住所、氏名

住 所 〇〇市△△町 3-2-1

氏 名 共済 花子

(②との続柄： 夫・妻・子・父母・祖父母・孫・兄弟姉妹・その他の三親等内の親族)

## ② 受給権者（又は被保険者）であった方の住所（亡くなった当時）、氏名

住 所 〇〇市〇〇町 1-2-3

氏 名 年金 一郎

## 1. 同居についての申立（住民票上の住所が異なっていた理由）（該当する番号に○をつけてください。）

※ ①と②が同居していたが、住民票上の住所が別になっていた場合に記入

(1) 介護・高齢等のため同居していたが、住民票は移していなかったため。

(2) その他（具体的な理由を記入してください。）

以下の2～4については、①と②が別居していた場合に記入してください。

## 2. 経済的援助についての申立（該当する項目、番号に○をつけてください。）

※ ①と②が別居していた場合に記入

※ 経済的援助には、生活費・療養費・施設入居費等の現金によるものだけでなく、医療・食事・住宅・日用品・介護用品などの現物による援助も含まれます。

㊦ 経済的援助の有無（ あり ・ なし）

⇒ 「あり」の場合  ①が②を援助 ・ ②が①を援助

① 上記㊦で「あり」の場合にはその回数（年・ 月 約 〇 回程度）

② 上記㊦で「あり」の場合にはその金額（年・ 月 約 XXX,XXX 円程度）

※ ②については、請求者が受給権者であった方の配偶者・子以外の場合に記入

㊧ 経済的援助の内容

(1) 定期的に現金を渡していた。（口座振込・ 送金・手渡し）

(2) 不定期だが、必要に応じて現金を渡していた。（口座振込・送金・手渡し）

(3) 入院費・施設費などを全額または一部負担していた。

(4) 必要に応じて、現金以外で援助していた。

(5) その他（具体的に記入してください。）

3. 別居していた理由（該当する番号に○をつけてください。）

※ 請求者と亡くなられた方の続柄が配偶者または子の場合で①と②が別居していた場合に記入

(1) 婚姻したことにより、受給者とは別住所に住んでいたため。

(2) 単身赴任をしていたため。

(3) 施設（老人ホームまたはそれに準ずる施設・病院）に入っていたため。

(4) その他（具体的に記入してください。）

4. 定期的な音信・訪問についての申立（該当する項目、番号に○をつけてください。）

※ 請求者と亡くなられた方の続柄が配偶者または子の場合で①と②が別居していた場合に記入

㊦ 音信の手段  (訪問) ・面会 ・電話 ・手紙 ・メール ・その他 \_\_\_\_\_ ) ※複数可

① 訪問回数 ( 年 ・  月 ・ 週 約  回程度 ・ なし )

㊧ 音信・訪問の内容

(1) 日常生活状況の確認・連絡

(2) 日常生活の援助

(3) 介護のため

(4) その他（具体的に記入してください。）

5. 生計同一関係にあったことの申立

私は、上記のとおり上記②の者と生計を同じくしていたことを申し立てます。

全国市町村職員共済組合連合会理事長 様

申立年月日：令和  年  月  日 ※ この申立書の記入日を記載してください。

請求者氏名 共済 花子

6. 第三者による証明欄 ※ 生計同一関係証明書類を提出している場合は記入不要です。

上記の内容は、事実と相違ないことを証明します。

また、私は上記①と②の者の民法上の三親等内の親族ではありません。

証明年月日：令和  年  月  日 ※ 5の申立日（記入日）以後に証明してください。

住所 〇〇市〇〇町 5-4-6

氏名 連合会 太郎

請求者との関係  
または職名

民生委員

電話番号 03 - 5210 - XXXX

※ 法人（会社、病院、施設等）・個人商店として証明する場合は、所在地・名称及び証明者の役職名と氏名を記入してください。

※ 第三者とは、民生委員、病院長、施設長、事業主、隣人等をいい、民法上の三親等内の親族は含まれません。

※ 必要に応じて、書類の提出をお願いすることがあります。